

配布先：児安さん、堀口さん、田中哉巖さん・美華さん、但馬さん、西さん、小野さん、諸節さん、高橋さん、古谷さん、高木さん

マジシャンズ ムツアイ 活動報告（自主練習会） 28-2

2016年 7月2日活動報告(自主練習会)

1. 出席者： 7月2日（土）児安、堀口、田中哉巖、但馬、西、小野、諸節、高橋、古谷、高木
2. 会 場・活動時間：六会公民館 第1談話室 19：00～21：00
3. 活動報告（敬称略で記載します）

3. 1 会長からの報告

第39回ふるさとまつりの会議の報告、計画書提出事項(今月提出要)、及び今後の対応の検討を行う。

(1) 会議の報告

① 舞台発表

- ・日時 10月15日（土）11：50～12：10（出入りを含めた時間）
- ・本館3階ホールで行う。原則としてイス、机、マイクなどの配置及び設置は出演団体が行う。
- ・計画書提出事項
リハーサル時間申込、使用機材の申込（音響、マイク、使用機材）、更衣室、舞台配置計画
「舞台発表計画書」の提出担当:児安；提出期限:7月29日（金）
- ・留意事項
出演団体の入退場は舞台そで入り口のドアを使用する。
舞台は、従来通り土足厳禁

② 催し物（体験コーナー）

- ・日時 10月16日（日）10：00～12：00
- ・体育棟地下2階 体育室を4つに仕切って4サークル（将棋、手作り工作、絵手紙、マジシャンズ ムツアイ）で使用、1区画がマジシャンズ ムツアイのコーナ、当日の運用は各サークルで行う。
参加団体は催し物開始の時間前（集合時間9：30）に会場準備を終え10：00に開始する。
また、催し物終了後は速やかに片づけをし、借用物は所定の場所に戻す。又掃除（モップかけを行う）をする。
- ・計画書提出事項
「催し物運営計画書」の提出担当:児安、提出期限:7月29日（金）
使用物品申請 椅子、机

③ その他

- ・会場の支援要員（各2名）
会場設営 10月14日 17：00～
場内整理 10月15日 14：00頃から
内容 プログラム配布、場内誘導、マナー指導、5分前にホール前で引き継ぎ
会場片付 10月16日閉会式終了後 15：00頃から
- ・その他提出物
ポスター A4版カラー（9月中旬までに提出要）1枚

公民館でA3に拡大して（2枚）館内に貼っていただける

ポスターは催し物の案内用に作成する（記載内容:日にち、時間、場所、案内文等）。

サークル紹介文（9月中旬までに提出要）

当日配布のプログラムに載せる。紹介文は各サークルで舞台発表のアナウンスをする。

・補足情報

屋外のマジックは実施しない／バザーは地下1F／駐車場は、模擬店使用

／当日駐車場は使用できない

（2）対応検討

対応検討事項、今後の進め方は次の通り。

①舞台発表

・演技のアイデアを高木さんが作成し、会員に回送する、来月には決定したい。

・計画書提出事項

リハーサル時間申込 第一希望 10月12日（水）19:00-21:00

第二希望 10月13日（木）19:00-21:00

使用機材の申込

音響は借用出来ることになった。操作はマジシャンズ ムツアイで行い、使用後は元通りに戻しておく。

マイク ハンドマイク×3、ピンマイク×1、マイクスタンド×2

用品 机×2 椅子×9

更衣室 男性（第2談話室の一部）、女性（音楽室） それぞれ1

・舞台配置計画

演技内容決定時にまとめ

②催し物

・「サロン」と「テーブル」を行う、「サロン」で見てください、その後「テーブル」へ誘導する、それを複数回繰り返す。

・演目については各自考えておいてください

・計画書提出事項

使用物品申請 机×8 椅子×40

③その他

・会場の支援要員

会場設営 10月14日 17:00~

堀口、西

場内整理 10月15日 14:00頃から1時間

諸節、高橋

会場片付 10月16日閉会式終了後 15:00頃から

児安、美華

・その他提出物

ポスター A4版カラー（9月中旬までに提出要）

作成担当:高木 提出担当:児安

サークル紹介文（9月中旬までに提出要）

作成担当：高木 提出担当：児安

*紹介文は各サークルで舞台発表のアナウンスをする。

*出演サークルが紹介めくりを担当する。

④当日のメンバーについて

小野 15, 16日 欠席 / 但馬 16日 欠席

堀口 15, 16日（役員のため出演不可）

⑤舞台班第2回班会議 8月29日（月）午前10時30分～ 担当:児安

⑥舞台班第3回班会議（反省会）10月21日（金）午前10時30分～ 担当:児安

⑦催し物班第3回班会議（反省会）10月21日（金）午後1時30分～ 担当:児安

3. 2 依頼イベントの報告

・結果は、HPのイベント参照ください。

3. 3 5月度講習会の復習

①「幸せの書」

・講習は終了、先生に披露して完了とする。

演者 西

②「名刺の印刷」

・講習は終了、先生に披露して完了とする。

演者 児安、高木

③「ロープ結び目」

・講習は継続する、先生に披露する。

演者 高橋

上記 演者の方以外でも当日演技可能。

3. 4 その他

(1) 但馬さんよりロープマジック（スピリット百瀬）のレクチャー本の解説

以上

(記)高橋

1. 個別演技とそのポイント

(1) 小野

①巨大イチゴの出現

- ・巨大イチゴの素材は非常に面白いし、見栄えも良いので、マジックとしての不思議さをどのように見せるかがポイント。

イチゴの出現のしかた、シルク彩り、イチゴが急に開く方法、複数のイチゴ等

- ・全体にイチゴにまつわるストーリーにすると面白い

②サイコロジカルインポシビリティー

- ・お手伝いいただく観客に適度に緊張感をもたせ、観客には、それぞれの意外性を全体の盛りあげにつなげることが出来るかがポイント、せりふを練ればもっとよくなる。
- ・演目としてかなり完成してきており、細部の修正事項は記載割愛します

③インビジブルタッチ

- ・お手伝いいただく、2人の観客の立ち振る舞い、観客をリラックスさせること
- ・見えない糸を掴むのを自然に

(2) 児安

①無尽蔵

- ・箱は手のひらに載せるのではなく、掴んだ方が無難
- ・右手で物を置くときに、箱が横に開くので、正面からずれないように
また、時には、体で横からの視線をブロックすることも可能。
- ・傘は、袋に入れてシルクで覆い、引き抜く方がスムーズに演技できる。
- ・出現するネタも飽きる可能性があるなので、意外性のあるものの工夫をすると良くなる。

(例 横にしたお茶、オロナミンC等)

以上